

January.2021

Vol.120

さが 看護協会だより



佐賀県看護協会

〒849-0201

佐賀市久保田町徳万1997-1

TEL.0952-68-3299 FAX.0952-68-3603

URL <http://www.saga-nurse.org>

E-mail sagakgkk@coral.ocn.ne.jp

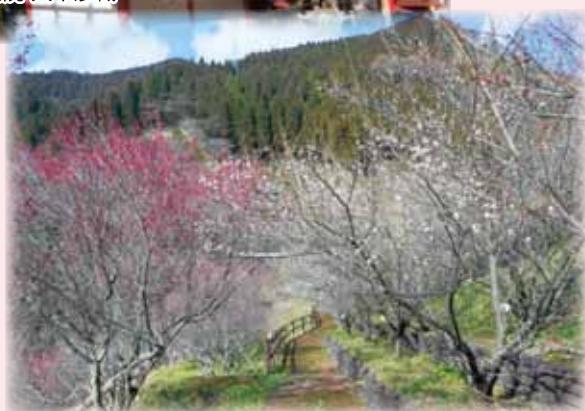
発行責任者 会長 南里 玲子



撮影者：やよいがおか鹿毛病院 大中沙織



撮影者：白石共立病院 写真部



会員数

5,611人
R2年12月現在

保健師
196人

助産師
115人

看護師
5,030人

准看護師
270人

..... CONTENTS

- ② 会長あいさつ
- ③ 新型コロナウイルス感染症対策
寄付のお礼とご報告
- ④ ~ ⑤ 看護ふれあいフェスタ
- ⑥ ~ ⑧ 各地区支部だより・医療安全管理者交流会
- ⑨ 特集(患者と家族の心をつなぐ
・在宅緩和ケアの取り組み)
- ⑩ ~ ⑪ ナースセンターだより
(看護職員離職需要調査結果・とどけるん
・新型コロナ感染症による求人求職の動き)
- ⑫ 理事会報告・ストッキング割引販売の
案内・編集後記

穏やかな年を願って

公益社団法人佐賀県看護協会
会長 南里 玲子

会員の皆さん、あけましておめでとうございます。



皆さんには、日頃より本協会の活動にご理解、ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

昨年は花冷えの頃から、新型コロナウイルス感染症に翻弄されました。ひと時の静けさが訪れたかと思う間もなく、第2波、第3波が日本各地を襲いました。本県も決して例外ではなく、今なおコロナ終息の兆しは見えません。第一線で対応されている医療機関、保健福祉事務所関係者、緊張の中、訪問看護や施設での看護に従事されている皆様に、心より敬意と感謝を表します。まだまだ、心落ち着く日は遠いと思われますが、その日が来ることを信じ、「チーム看護」で頑張りましょう。

昨年、2020年はナイチンゲール生誕200周年、「看護の日・看護週間」制定30周年でした。日本看護協会では、一大イベントとして「Nursing Nowキャンペーン」を展開する予定でしたが、コロナ禍で、中止・縮小せざるを得ない状況が続きました。そこで日本看護協会は今年6月までのキャンペーン延期を決定しています。コロナの鎮静化が見えない状況で、どこまで実施できるか不透明ではありますが、感染症対策にも精力的に取り組んだナイチンゲールに想いを馳せ、「看護」を今一度考える機会にしたいと考えます。

さて、今年は丑年です。

干支の中で牛は、どっしりと落ち着いた雰囲気を持っています。「こって牛」や「牛根性」という言葉からも、寡黙で慎重、静かだけれど良い意味で執拗なる性質を持ち合わせている印象を受けます。日本看護協会が取り組む重点項目も、一朝一夕で達成できるものではありませんが、会員各自が現状を正しく認識し、関心を持ち考えることが重要だと思いますので、お忙しい日々とは思いますが、協会ニュースに目を通し、協会のホームページを閲覧していただくことをお勧めします。

新しい年の始まりにあたり、穏やかな日常の中で、一日でも早く看護協会活動、研修会や委員会活動ができる事を願っています。会員の皆さん方、なお一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。



新型コロナウイルス感染症対策～研修会編～



2020年4月から新年度の一般研修が始まる矢先、4月16日に緊急事態宣言が全国に拡大されました。

翌日の4月17日は、No.1「明日から活用できる看護研究！～看護研究を始めるために～」の開催を予定していたので、当看護協会に激震が走りました。協議した結果、開催決定となり、感染予防対策について事前に検討していたことを実施することになりました。その後、講師が関東圏からお越しいただく予定の研修は中止になりました。佐賀県内の新型コロナウイルス感染症が4月末から5月上旬に急増したため、5月の一般研修は全て中止・延期にしました。6月からは、悪天候や台風の影響で日程変更をした研修もありましたが、全部予定通りに開催をしています。
(令和2年12月現在)



《 感染予防対策として受講者のみなさんへのお願い 》

1. 研修2週間前に県外への往来や発熱、咳嗽がある場合は受講を控えてください。
2. 看護協会内では必ずマスクの着用をお願いします。
3. 受付時、体温チェックをします。(自宅で検温済みの場合は申告をお願いします)
4. 密集を避けるため、1机に1名ずつ着席してもらうように席を指定しています。
(事前に指定している席には、資料を配布しています)
5. 密閉を防止するため、窓・出入口を半開放にします。室温調整が難しくなりますので、服装の着脱・膝かけなどで調整をお願いします。
6. 休憩時間中の会話は必ずマスクを着用し、一定の距離を保つようにしてください。
7. 1日研修(研修時間5時間)の場合、自分の席で昼食を摂ってください。
(会食にならないようにお願いします)
8. 看護協会内からのお帰りの際、必ず手指消毒をお願いします。

注意

万一、受講者の感染が確認された場合、保健福祉事務所等において他の受講者が濃厚接触者に該当すると判断された際に受講者の連絡先等の情報提供が要請されることがあります。このような要請があった際は、保健福祉事務所等に対して情報提供をさせていただきますので、あらかじめご了承ください。

一般研修は、全体の2/3の研修を終えました。これまで、新型コロナウイルス感染症の収束がみられない状況のもと、クラスターが発生することもなく、対面での研修会を開催できるの

も受講してくださる受講者のご理解とご協力があるからこそだと思います。感謝申し上げます。

2月まで一般研修は続きますので、受講されることをお待ちしております。

文責：事業部教育 安武



◎寄付のお礼とご報告

日々、コロナウイルス感染症拡大の中、医療現場で活躍している看護職の方々のために企業や団体の皆様からご支援・ご寄付をいただきました。

ご寄付いただきました関係者の皆様本当にありがとうございます。



企 業 名	物 品 名
東洋羽毛九州販売（株）	サージカルマスク マイカミンケット
松尾建設株式会社	サージカルマスク
ベトナムパートナーシップ	サージカルマスク
公益社団法人日本看護協会	サージカルマスク・防護服 アイソレーションガウン

看護ふれあいフェスタ 2020

令和2年9月26日(土) 13:00~16:00



今年は新型コロナウィルス感染症拡大のため、イベントが軒並み中止となる中、「看護フェスタ2020」を佐賀県と看護協会の共催で、無事開催することができました。

例年と異なり参加人数を調整するため、事前申し込みとしました。嬉しいことに県下の中学生、高校生、一般の方々など150名を超える申し込みがあり、最終的に88名の参加となりました。



ナイチンゲール生誕200年となる今年は、英国から全世界へ広がったNursing Nowキャンペーン「看護の力で健康な社会を！」が展開されています。その意義も含め、「NGOアフリカ友の会」を設立し、HIV感染者の治療と生活支援、感染防止のため献身的な活動を続けられ、2005年にフローレンス・ナイチンゲール記章を受章された徳永瑞子氏を招き、「アフリカの人々と共に働き、共に生きて看護を考える」というテーマでご講演をいただきました。

中央アフリカでの活動の様子の他、若い人々に伝えたい事として、コロナ禍をどう生きるか、日本における児童虐待について、知識を意識にかえるとは、女性の働き方改革を考えるなどグローバルな視点でわかりやすく、情熱的に語っていただきました。中高生が熱心にメモをとる様子が見られ、アンケートでも講演内容に感銘を受けたとの声が多くありました。

講演に先立ち日本看護協会の「忘れられない看護エピソード」募集において、今年度看護職部門で最優秀賞を受賞された、鳥栖市在住の齋藤泰臣氏による看護体験発表があり、自身の体験をふまえ看護への思いを感動的に語っていただきました。

佐賀北高等学校音楽部の皆さんによるオープニングコンサートも素晴らしく、場内にさわやかな歌声と演奏が響き渡りました。進路相談も行い、新型コロナウィルス感染症対応や災害支援の看護活動などの展示も皆さんに熱心に見ていただくことができました。

(樋渡 泉)



徳永 瑞子 氏



佐賀北高等学校音楽部の皆さん





進路相談

第10回 忘れられない看護エピソード



その声は

【佐賀県】齋藤 泰臣



「病院まで遠いよ。最期の会話になるかもしれない」「そんなことない。間に合う」と小声で言い争う男女の声が、師走の電車に揺られていた私の耳に入ってきた。聞き耳を立てるつもりはなかったが、切羽詰まった男女のやり取りと内容が気になった。

夫婦と思しき2人は、携帯電話をのぞき込み会話を続けていた。「電話したほうが良いよ」「いや、人の迷惑になる。駅に着いてからでいい」。他の乗客も気になるのか、2人に視線を向けていた。「意識なくとも耳は聞こえてるって。掛けなさいよ。お義父さん、待っているよ」「電車内だから掛けられないよ」。お互いに感情が高ぶり、少しずつ声が大きくなっていた。携帯電話の向こう側で、息を引き取ろうとしている父親がいて、臨終の場に間に合わない状況にあるということは、その場の誰しもが理解できた。

緩和ケア病棟に勤務する私にとっては、静観できない場面であった。病棟では家族から患者への最期の声掛けを、後悔がないように気持ちを伝えることを促してきた。躊躇しながらも席を立ち、2人に近付こうとした時、「電話、掛けたほうがいいですよ」と2人の正面に座っていた女性が声を掛けた。近くにいた乗客も見守りながら頷いている。背中を押されたように男性が電話を掛ける。「お袋、親父の耳元に携帯電話を置いてくれ」。電車内に声が響く。「親父、親父が一生懸命働いてくれたから、俺たちは腹一杯に飯が食えて、少しもひもじい思いしなかったよ。心配しないでいいから。本当に、本当にありがとう」。静まり返る電車内で嗚咽を懸命に抑える男性。苦情を言う者などいもしなかった。

2人は何度も乗客に頭を下げながら、目的の駅で降りていった。電車内に師走の喧騒と冷気が入り込む。しかし、言葉にはできない胸の温かさを私は感じていた。あの場にいた誰もが、まさに「看護」をしていた。そして誰もが胸の温かさと同様に感じていただろう、「その声は届いている」と。

東部地区だより

特別講習会

日 時：令和2年11月7日(土) 13:30～15:30

場 所：肥前精神医療センター 医師養成研修施設センター

講 師：雪の聖母会 聖マリア病院

脳卒中看護認定看護師・特定看護師

看護支援室長 杉本 智波 先生

ユマニチュード認定インストラクター

内 容：「私たちのケアは届いているでしょうか？」

～ケアを見直して見ませんか～」

参加者：57名



ユマニチュードは「人間らしさ」という意味を持ち、フランスの体育学者であるイブ・ジネスト先生とロゼット・マレスコッティ先生が開発した技術で40年の歴史を持っています。その哲学は、1.回復を目指す2.機能を維持する3.最後まで寄り添うことであり、哲学を実現するための、「見る」「話す」「触れる」「立つ」の4つの柱で構成された技術から成り立っています。

ケアの際に最も重要なことは、「相手に情報をどう投げるか」ということでした。2時間の研修で具体例や動画を見ながら学習し、アンケート結果からも「良かれと思っていたケアが無理に実施していたことにハッとした」という意見が最も多く、受講者は、明日からのケアをもう一度見直そうと思えた研修会でした。研修会を通して、技術が先行しないよう、組織の倫理観を再確認し、少しでも現場のケアがより良いものになればと思いました。

教育委員：齋藤 よし子 今田 幸子

西部地区だより

西部地区研修会

日 時：令和2年10月28日(水) 18:30～20:00

場 所：武雄杵島地区医師会検診センター 講堂

講 師：NHO嬉野医療センター

感染管理認定看護師 重松 孝誠 先生

内 容：「新型コロナウィルス感染症について」

～受け入れの経験を踏まえて～

参加者：93名

新型コロナウィルス感染症と感染対策、新型コロナウィルス感染症の受け入れの流れ、「withコロナ」とどう向き合うかについて、実際に経験されたことを踏まえて講義をしていただきました。新型コロナウィルス感染症の感染対策としては、標準予防策の徹底が重要であり、基本となること。標準予防策の10項目について再認識されました。

感染を予防しながら日常生活を送るwithコロナの時代。新型コロナウィルス感染症について正確な基礎知識や最新の情報を得て、感染対策を行う。「ただ恐れる」ではなく「正しく恐れる」ことが大切であることを理解しました。



中部地区だより

中部地区研修会



日 時：2020年11月14日(土) 14:00～15:30

場 所：メートプラザ佐賀(多目的室1)

テマ：新型コロナウイルス感染対策について

新型コロナウイルス感染にて入院した患者の看護の実際

講 師：独立行政法人国立病院機構 東佐賀病院 看護部 副看護師長
感染管理認定看護師 古瀬 法子 先生

今年度の中部地区研修はコロナ禍の中、密を避け換気を行う中で人数制限をして、38名の参加により開催することができました。テーマも受講者の関心の高い新型コロナウイルス感染対策についてと、感染して入院した患者さんの看護についての実際の取り組み等について講演して頂きました。又、講演前に佐賀中部保健福祉事務所の取り組みについても紹介して頂きました。

参加者のアンケート結果から、研修の満足度は89.4%の人が「大変満足」、「満足」でした。又、参加の動機としては67.7%の人が自発的な参加でした。参加者の声としては「リアルな話を聞けて良かった。」「大変参考になった。」「看護の実際を聞かせて頂きすごく学びになりました。」などの意見があり、感染対策に対して今後に活かせた内容の研修になったと思われます。



南部地区だより

南部地区研修会

日 時：令和2年11月7日(土) 13:30～15:30

場 所：看護センター 研修室 参加者：61名

講演1)「佐賀県における新型コロナウイルス対策

～プロジェクトMの取り組み～」

講師 佐賀大学医学部 救急医学講座 教授

佐賀大学医学部附属病院 高度救命救急センター長

阪本 雄一郎 先生

講演2)「新型コロナウイルス感染対策」

講師 佐賀大学医学部附属病院 感染制御部 師長

感染管理認定看護師 金子 ゆかり 氏

今年度は新型コロナウイルスのため看護の日、救急の日、老人看護月間などの地区支部行事は開催できませんでした。

今後とも地区支部活動へのご支援、ご協力をお願いいたします。



前半はプロジェクトMの本部長である阪本先生からプロジェクトMの立ち上げから第1波、第2波における対応についてご講演いただきました。後半は金子ゆかり氏に「新型コロナウイルス感染対策」として標準予防策の遵守、院内に持ち込まない対策、院内で拡散させない対策についてご講演頂きました。

☆参加者の皆さんからの感想(アンケートから抜粋)

- ・プロジェクトM(新型コロナウイルス対応医療提供体制強化本部)について理解できて良かった。
- ・行政と医療が連携し、迅速に先手先手の対策がとられていることを知り、医療従事者としても、佐賀県民としても安心できた。
- ・新型コロナウイルスの感染対策も標準予防策が基本であることを再確認することができた。
- ・改めて標準予防策の重要性を痛感した。
- ・自院での感染対策に活かしていきたい。
- ・コロナに振り回されず、冷静に対応していきたい。



北部地区だより

令和2年度は、新型コロナ感染症拡大のため、例年行っていた看護の日のイベントや、老人看護月間健康相談会の開催は中止になりました。

また、精神保健福祉大会も規模を縮小しての開催となり、会員の派遣はありませんでした。

このような状況の中、11月14日(土)に相知交流文化センターで北部地区研修会を無事に開催することができました。唐津赤十字病院、感染管理認定看護師である中山美穂先生を講師に「コロナの時代 あらためて感染管理を考える～標準予防策を見直そう～」のテーマでご講演いただき、44人の参加がありました。参加者から、「基本の振り返りができた。」「根拠とともに理解できた。」とおおむね好評を得ることができました。



2020年度 医療安全管理者交流会

医療・看護安全推進委員会委員長 橋本 恵津子

令和2年10月22日(木)に「医療安全管理者及び医療安全に関わる者の能力を高めると共に、医療安全に係る情報等の交換・共有することにより医療安全の連携を図る」を目的とし、医療安全管理者交流会を行いました。佐賀県内20施設36名の参加がありました。

今年度は「患者自己管理内服薬の過剰投与」と「インスリン過剰投与(動画)」の2事例を用いてグループディスカッションを行いました。2事例とも各施設でよく見られる事例であり、参加者も活発な意見交換を行うことができました。

今回は看護師だけではなく、コメディカルの方にも参加していただきました。

次回は他部門の参加を視野に入れた共通の内容(例えば、「患者確認」や「転倒転落」等)また「トピックス」を踏まえた事例の選定を行っていきたいと考えています。

参加していただいた皆様方のご協力に深く感謝いたします。



特集1

患者と家族の心をつなぐ

やよいがおか鹿毛病院 看護師 大中 沙織
システム管理 福田 雅治

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、多くの医療機関では重篤な状態や手術の事前説明などがない限り、患者様や医療スタッフへの感染防止のためご家族も面会できなくなり不安に包まれている状況でした。「少しでも顔を見たい」「症状が進んでしまうのでは」との声もあり、患者様とご家族の思いに応えようと当院では8月からリモート面会を導入しました。

当院でのリモート面会のシステムは、iPadとスマートフォンを導入し、Skype(スカイプ)を利用しています。13時から17時の間で、ご希望された入院患者様とそのご家族の方を対象とし、患者様は病室で、ご家族は各病棟のナースステーション前で5分程度といたしました。

面会禁止となりお手紙でのやり取りをされていても、画面越しでお互いが顔を合わせることにより、普段は出されないような笑顔や涙を流して喜ばれる姿が見られました。また、帰宅願望が強かった患者様が会話後には穏やかに過ごすことができたこともあり、リモート面会の効果を感じることができました。タブレットやスマートフォンが普及しテレビ電話が容易になった今だからこそ、リモート面会は直接会えない患者様とご家族の心をつなぎ、QOLを向上させるアプローチではないかと思います。今後も長期にわたり新型コロナウイルスと共に存する状況が想定される以上、リモート面会は必要であり継続していくたいと思います。



特集2

在宅緩和ケアの取り組み

松嶺会 河畔病院 緩和ケア病棟 花音 岡口 美帆

当院の緩和ケア病棟「花音」は、2002年4月に開設し19年になります。2019年度の入院患者数は145名でそのうち22名(15%)が自宅や施設へ退院されました。まず、入院して来られた患者様やご家族の今後の療養についての希望を確認し、できるだけその希望に添えるよう支援していきます。

症状コントロールができたら帰りたいという患者様や、残念ながら病状が進行し看取りの時期となられた患者様で、ご家族が自宅で看取りたいと希望され退院される患者様もいらっしゃいます。患者様、ご家族が大切にしたいことを私たちが把握することは、援助していく上で最も大切にしていることです。

2020年は新型コロナウイルス感染症の影響で医療現場には様々な影響がありました。当病棟でも面会制限があり、これまでとは違う環境の中での看取りは患者様、ご家族にとって辛い思いをされたと思います。

私たちスタッフも家族に囲まれて最期の時間を過ごしていただきたいという思いが叶わず辛い思いも沢山ありました。このような面会制限があることから、残された時間をご家族で過ごしたいという患者様、ご家族には自宅でという選択もあることを説明し、最期の療養場所として自宅を選択をされる患者様もいらっしゃいました。自宅で看るということはご家族には負担が大きく、不安も大きいものです。退院される前に退院前カンファレンスを行い、退院後問題となる可能性があることを抽出し、多職種でそれぞれの専門性を生かし、支援を行っていきます。患者様、ご家族からは「これだけの人に関わってもらって安心」という言葉が聞かれることもあります。また退院しても状況によっては入院できることを保証しておくことで患者様、ご家族の安心につながります。当院には併設されている訪問看護ステーション「まつのみ」があり、残された時間が短い患者様の訪問看護の依頼も早急に対応できるようにしています。今後も患者様が希望される在宅であっても安心して過ごすことができるよう多職種で連携し、支援していきたいと思います。



ナースセンターだより

令和2年度 看護職員離職・需要調査結果

ナースセンターでは、毎年佐賀県における看護職離職・需要状況調査を実施しています。

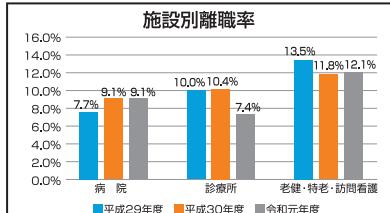
【調査時期】令和2年7~9月 【調査方法】郵送による調査

【調査対象施設】佐賀県内の病院、診療所、老健・介護施設、訪問看護ステーション

【回収率】65.0% (昨年度回収率:57.4%)

1. 施設別離職率

施設	平成29年度	平成30年度	令和元年度
病院	7.7%	9.1%	9.1%
診療所	10.0%	10.4%	7.4%
老健・特老・訪問看護	13.5%	11.8%	12.1%
計	8.3%	9.4%	9.0%



離職率は前年度に比べて減少している。
施設別では診療所の離職率が減少している。

2. 離職理由 ※上位3位、同率あり。複数回答あり。

	1位		2位		3位		
	離職理由	%	離職理由	%	離職理由	%	
20歳代	平成29年度	看護他分野への興味	24.8	結婚	20.4	転居	14.3
	平成30年度	結婚	18.9	看護他分野への興味	16.7	転居	13.1
	令和元年度	看護他分野への興味	20.5	結婚	17.9	転居	17.1
30歳代	平成29年度	看護他分野への興味／転居	13.2	家事との両立困難	12.8	出産・育児	11.5
	平成30年度	健康上の理由	11.2	看護他分野への興味	10.8	出産・育児	10.5
	令和元年度	看護他分野への興味	15.6	本人の適性	14.4	家事との両立困難	9.1
40歳代	平成29年度	健康上の理由	12.4	家事との両立困難／本人適性	11.3	家族の介護／同僚との関係／看護他分野への興味	9.6
	平成30年度	看護他分野への興味	13.4	健康上の理由	12.4	本人の適性	10.6
	令和元年度	看護他分野への興味	16.8	健康上の理由	14.6	同僚との関係	12.4
50歳代	平成29年度	健康上の理由	26.5	本人の適性	13.6	同僚との関係	8.6
	平成30年度	健康上の理由	24.5	家族の介護	13.9	本人の適性	12.6
	令和元年度	健康上の理由	27.6	同僚との関係	15.1	本人の適性	13.2
60歳以上	平成29年度	定年退職	53.3	健康上の理由	21.3	家族の介護	9.0
	平成30年度	定年退職	52.9	健康上の理由	11.5	同僚との関係	5.7
	令和元年度	定年退職	52.6	健康上の理由	18.9	本人の適性	7.4
計	平成29年度	健康上の理由	13.4	看護他分野への興味	12.3	本人の適性	9.9
	平成30年度	健康上の理由	13.3	看護他分野への興味	11.4	本人の適性	9.4
	令和元年度	看護他分野への興味	14.3	健康上の理由	12.7	本人の適性	11.2

3. 新卒者の離職率

施設	平成29年度	平成30年度	令和元年度
病院	4.8%	8.8%	3.6%
診療所	26.7%	15.0%	13.8%
老健・特老・訪問看護	33.3%	14.3%	0.0%
計	6.0%	9.4%	4.5%

新卒者の離職率は減少している。

4. 新卒者の離職理由

離職理由	平成29年度	平成30年度	令和元年度
本人の能力不足	19.0%	8.3%	28.6%
職場不適応	23.8%	29.2%	28.6%
健康上の理由	28.6%	25.0%	14.3%
その他	28.6%	37.5%	28.6%
計	100%	100%	100%

「本人の能力不足」は増加し、「健康上の理由」は減少した。

5. 年度当初の採用人数を4月採用で確保できたか

項目	平成30年度	平成31年度	令和2年度
確保できた	52.8%	57.1%	57.4%
確保できなかった	47.2%	42.9%	42.6%
計	100%	100%	100%

確保できた割合は、3年連続で増加している。

6. ナースセンターを利用していない理由（複数回答あり）

利用していない理由	平成30年度	平成31年度	令和2年度
無料職業紹介所であることを知らない	25.0%	20.2%	23.2%
利用方法が分からない	31.4%	29.2%	32.6%
利用するメリットが分からない	17.9%	16.7%	10.9%
ハローワークや民間で求人を十分確保できている	22.9%	20.2%	24.6%
その他	17.1%	19.2%	19.6%

「無料職業紹介である事を知らない」と「利用方法が分からない」が増加している。

【まとめ】

- 2. 離職理由について、今年度は「看護他分野への興味」が「健康上の理由」を上回った。
- 3. 新卒者の離職率については、昨年度と比べて減少し、施設別にみても、減少している。
- 6. 「ナースセンターを利用していない理由」から、ナースセンターの認知度が減少している。

継続して広報活動を行い、求人募集ツールとしてナースセンターの利用促進を図り、

看護職の確保・定着・離職防止の支援に繋げたい。



調査へのご協力
ありがとうございました。

「とどけるん」

保健師、助産師、看護師、准看護師の免許をお持ちで仕事をされていない方は、以下の方法で届け出をしてください。

- スマートフォンまたはパソコンから「とどけるん」のサイトを開き自分で登録する。
- 退職時、施設に届け出票を提出する。
- 退職時、ナースセンターに届け出票を郵送する。

看護師等の届け出サイト

とどけるん

<https://todokerun.nurce-center.net/todokerun/>



新型コロナ感染症による求人求職のナースセンターの動き

1. 復職者へ協力の意思を確認と求人を広報

看護職離職時の届け出登録者及びeナースセンターの求職登録で「現在求職活動をしている」人達へ情報を発信し協力を依頼し続けています。

登録者が新型コロナ対応への協力が困難な理由として

- ・小さい子供がいる
- ・家族に高齢者がある
- ・家族が反対
- ・直接陽性者と接する業務は辞退(電話相談なら可能)
- ・ダブルワークをすると現在の勤務先に感染のリスクがある。

結果：協力可能な方は10名程度



2. 求人・紹介の現状

	求人元	4月～6月		7月末～11月		備考
		求人数	紹介数	求人数	紹介数	
求人内容	佐賀中部保健福祉事務所	1名	1名			
	杵藤保健福祉事務所	2名	0名			紹介時にすでに求人側で採用決定の為、紹介なし
	発熱外来（佐賀市医師会）	3名	3名	2名	1名	1人は求人側で確保
	PCRセンター（佐賀県医師会）			1名	4名	求職者は、毎日勤務ではないため4人採用
計		6名	4名	3名	5名	

3. 新型コロナ軽症者宿泊療養施設への対応

	4月～6月		7月末～11月		12月	
	派遣依頼人数	紹介数	派遣依頼人数	紹介数	派遣依頼人数	紹介数
佐賀県から佐賀県看護協会へ委託事業	2交代勤務の適性人数	・看護協会職員3名 ・ナースセンターから紹介4名	2交代勤務の適性人数	・ナースセンターから紹介延べ7名	2交代勤務の適性人数	・ナースセンターから紹介延べ5名

4. 紹介者への教育支援

- ①日本看護協会のHP「新型コロナウイルス感染症に関する動画・資料」を案内
- ②復職支援研修において実際に個人防護具を使った演習を実施
- ①や②を勤務の事前準備として行っています。

病院以外で日々活躍している新型コロナ感染症軽症者宿泊療養施設スタッフの方に話を聞いてみました。



2020年12月16日時点



Q. 軽症者宿泊療養施設への対応に協力いただいた理由を教えてください



- A. 新型コロナ感染拡大を受けて海外ボランティアを中断して帰国することになった経緯があり、今は、自国で必要とされる新型コロナ対応に協力したいと思いました。
再赴任の可能性も考え、正規ではなく短期間・単発での勤務が可能だったため。
・ブランクがあり、病院で働く自信はなかったが、同じ医療職として自分も役に立ちたいと思いました

Q. やりがいや現在の状況を教えてください



- A. 療養者とは主に電話でのやりとりで、発熱や呼吸器症状、食事や排せつなどを把握しながら重症化の早期発見に努めています。療養者は重症化への不安やこれから的生活への不安を抱えているため、訴えを傾聴し声のトーンや口調から相手の状態を予測し、早めに看護師間での情報共有や医師への報告を行っています。
病院とは違いますが、医療職としてコロナ患者への対応にかかわらせていただくことで、微力ながら看護師としての役割を果たせていると思っています。

Q. その他



- A. 自分の勉強時間を確保できたり、用があるときは事前に休み希望を提出できます。
現在、感染者が増加していることもあり、入所・退所が多く、さらに感染者が増えると緊急時の対応が困難になっていく可能性があるという不安があります。

軽症者受け入れ施設の1日の流れ

日勤：A 8:30～17:00	日勤：B 10:30～19:00	夜勤 16:30～9:00
8:30 夜勤からの引継ぎ 入居者の状況把握	日勤Aと協力 夜勤者と協力	16:30 日勤からの引継ぎ 入居者の状況把握
10:00 電話による健康状態観察		19:00 電話による健康状態観察
12:45 生活支援担当者の介助・指導		21:00 休憩・仮眠
15:45 共有部分の消毒		7:00 共有部分の消毒
16:30 夜勤者への引継ぎ		8:00 生活支援担当者の介助・指導
17:00 業務終了		8:30 夜勤者への引継ぎ
適時実施業務	・入所・退所に関する業務 ・オンラインリモート診察介助	・(対面の) 診察介助

貴重なご意見ありがとうございました。

新型コロナウイルス感染症による感染の拡大に伴い、ますます医療・介護施設などで看護職の就労が求められています。

就業に当たっては、短期間や時間単位などによる多様な勤務形態も可能です。

ナースセンターでは、求人の内容や業務をよりわかりやすくし、事前に研修を案内することで、復職者の就業に対する不安を少しでも緩和しようと思います。ぜひ、ナースセンターまでお問い合わせ頂きたいと思います。

理事会等報告

常任理事会 令和2年10月5日(月)

- 理事会打合せ(10月10日(土)開催)について
- 事業報告(7月～9月)
- 看護ふれあいフェスタについて

理事会 令和2年10月10日(土)

報告事項

- 日本看護協会理事会報告
- 事業報告(7月～9月)
- 看護ふれあいフェスタについて
- 特別委員会報告
 - 看護夢ナビ事業推進委員会
 - 認定看護管理者教育運営委員会
- その他
 - 2021年度日本看護学会学術集会抄録選考委員の推薦について

常任理事会 令和2年12月7日(月)

- 理事会打合せ(12月12日(土)開催)について
- 収支予算の補正について
- 日本看護協会長表彰候補者の推薦について
- 2021年度佐賀県看護協会重点事業について
- 2020年度佐賀県看護研究学会について
- 2021年度教育計画企画について

理事会 令和2年12月12日(土)

協議事項の審議

- 収支予算の補正について
- 日本看護協会長表彰候補者の推薦について
- 2021年度佐賀県看護協会重点事業について

報告事項

- 日本看護協会理事会報告
- 地区別法人会報告
- 職能委員長会報告
- 2020年度佐賀県看護研究学会について
- 2021年度教育計画企画について
- 災害支援ナース派遣調整合同訓練
- 全国会議(Web会議)報告
 - 都道府県看護協会災害看護担当者会議
 - 都道府県看護協会・訪問看護連絡協議会合同会議
 - 都道府県看護協会看護労働担当者会議
- 特別委員会報告
 - 医療・看護安全推進委員会・交流会
 - 災害看護委員会
 - 認定看護管理者教育運営委員会
- その他
 - 准看護師交流会について

足のむくみ・つかれに！弾性ストッキング割引き販売のご案内

「看護師人気の高い」シグバリス社弾性ストッキングを
協会員価格にて購入できます！



勤務中だけでなく
お休みの日に履く
着圧ソックスまで
いろいろ選べます！



会員登録後、購入
ページに進みます

2足
同時購入で
1足でも20%OFF！
30%OFF

編集後記



新年あけましておめでとうございます。寒い日が続き、まだコロナウイルスやインフルエンザに注意が必要な時期ですね。皆様も寒さを乗り切る健康法を試して今年一年を健康にお過ごしください。今後も色々な情報を楽しく読んでいただけるように頑張りたいと思います。

広報出版委員会 丸本義孝 草場康弘 橋本幸子 大中沙織 宮崎智史 小副川義也

URL:<http://www.saga-nurse.org>